

やごう いえじるし
屋号と家印

屋号とは、家ごとの呼び名のことで、居住地・先祖の名前・職業などから、様々な名称が付けられました。家印は、家ごとの所有物などを一目でわかるようにするための記号で、家財道具や農具、蔵などに付けられました。明治以降は、商家などで家印をそのまま屋号にする例が多くみられました。

屋号・家号 (やごう)

個々の家と呼び分けるのに付けられた通称
→商家の通称として使われるようになる

屋号の一例

出身地などから：伊勢屋・紀伊國屋

職業から：魚屋・綿屋 居住地の字名から：西浦屋

めでたい字や神様の名前から：満留寿、大黒屋 など



嘉永5年(1852)の文書に記された屋号と家印(西浦家2770)
右より 全丸屋・⊗西浦屋・舎三河屋・田今利屋



家印屋号㊦が着物の紋として描かれている満留寿商会の広告

家印 (いえじるし)

家財、農具などの所有物に、家の印として付けられる
 もともとは、木材などの占有を示すのに使われた印で
 あるため、「山形 」や「曲尺形 」が多い
 やがて屋号、商標として使われるようになった

(家印屋号)

家印屋号のなりたち

多くは 記号+文字で構成

**記号：主家や本家の記号を継ぐ
願いを含めた記号を使う**

- : 正しいこと、金運、円満
 ㄗ: 真っ直ぐなこと、金運（カネ→金）
 へ: 盛り上がる、頂点を極める など

文字：先祖や当主の名を使う

松 → 松次郎 又 → 又助

名字を使う

①井 → 井澤 冫 → 清水



家印の焼き印のある包丁



大正11年（1922）「多治見豊岡両町略地図」より 店名とともに家印屋号が記されている

多治見の家印屋号いろいろ



絵具製造 やまよね



薬局 かまぐすり



鯉兼製陶所



マスイチ商店

町 見 治 多									
勇 加藤 勇一 電話五二三番	金 小田井 靜一 電話三三五番	金 多治見 陶業 電話一九五番	金 清水 貞雄 電話一三四番	正 松浦 正吉	天 中島 幸次郎 電話五九七番	介 川本 逸治郎 電話四七番	令 齋藤 政太郎 電話二九七番	令 齋藤 昌平 電話二九七番	令 加藤 定治郎 電話二九七番
陶器商組合 一部									
多 加藤 松次郎 電話五八番	肥 大嶽 萬三郎 電話四三三番	日 加藤 德三郎 電話四五番	井 加藤 廣次郎 電話六三番	力 井澤 次太郎 電話一五一番	合 加藤 貫一 電話二〇一〇番	一 稻垣 隆三 電話二四四番	分 古林 市兵衛 電話二四四番	新 加藤 忠一 電話二二番	新 加藤 新右衛門 電話六七七番
陶器商組合 一部									
日 日比野 新七 電話五九七番	令 齋藤 昌平 電話二九七番	令 加藤 定治郎 電話二九七番	令 川本 逸治郎 電話四七番	介 中島 幸次郎 電話五九七番	天 松浦 正吉 電話五九七番	正 清水 貞雄 電話一三四番	金 多治見 陶業 電話一九五番	金 小田井 靜一 電話三三五番	勇 加藤 勇一 電話五二三番
多治見陶磁器貿易商組合									
多 各務 千代松 電話一〇二番	不 加藤 英二 電話一〇二番	京 富田 七三郎 電話七五五番	美 水野 治作 電話二二五番	全 水野 傳次郎 電話二二五番	貝 松原 階太郎 電話二一六番	列 加藤 長一 電話一四四番	公 各務 市造 電話一四四番	半 日比野 銀造 電話一〇八番	祥 伊藤 梅吉 電話一五〇番
陶器商組合 昭和會									
新 水野 合名會社 電話五一五番	峰 藤浪 峰松 電話五一五番	文 木塚 文一 電話五一五番	伊 伊佐治 準太郎 電話五一五番	意 加藤 忠治 電話六六番	孝 加藤 賢三 電話六六番	春 深川 孝三 電話三〇番	春 水野 春吉 電話三〇番	乙 水野 登土雄 電話三〇番	乙 水野 登土雄 電話三〇番
多治見陶磁器貿易商組合									
允 鈴木 光三 電話九〇八番	允 加藤 助九郎 電話九〇八番	小 小池 鐵作 電話三八番	菱 加藤 正清 電話三八番	下 水野 義雄 電話三八番	井 井戸田 浦三郎 電話三八番	不 川本 雅造 電話三八番	誠 加藤 誠三 電話三八番	峰 加藤 峰太郎 電話三八番	尾 永江 一三 電話三八番
多治見陶磁器貿易商組合									
允 鈴木 光三 電話九〇八番	允 加藤 助九郎 電話九〇八番	小 小池 鐵作 電話三八番	菱 加藤 正清 電話三八番	下 水野 義雄 電話三八番	井 井戸田 浦三郎 電話三八番	不 川本 雅造 電話三八番	誠 加藤 誠三 電話三八番	峰 加藤 峰太郎 電話三八番	尾 永江 一三 電話三八番
多治見陶磁器貿易商組合									
允 鈴木 光三 電話九〇八番	允 加藤 助九郎 電話九〇八番	小 小池 鐵作 電話三八番	菱 加藤 正清 電話三八番	下 水野 義雄 電話三八番	井 井戸田 浦三郎 電話三八番	不 川本 雅造 電話三八番	誠 加藤 誠三 電話三八番	峰 加藤 峰太郎 電話三八番	尾 永江 一三 電話三八番

昭和9年（1934）版『土岐郡情勢一般』より 多治見町の陶器商組合

多治見について調べるなら

郷土資料室へ

地域に関する資料や皆様から寄せられた文書や記録などを、整理・保存しています。

資料は、調べ学習や研究にもご利用いただけます。地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までどうぞ。

皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供などもお待ちしております。



多治見市図書館郷土資料室

〒507-0034 多治見市豊岡町 1-55 ヤマカまなびパーク 4 階 JR 多治見駅より徒歩 5 分 TEL. 0572-23-3783

開 室：火～土曜日 10時～17時（日・月・祝日・年末年始は休室） ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください。